

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の学び直しと日本語支援を充実させ、学ぶことに苦手意識を持つ生徒の生きる力の基礎となる能力の習得を目指す。</p> <p>②生徒の実情やニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を図るため、ICTの活用を含めた環境整備、外部連携を推進する。</p> <p>③教科横断的な視点に立ち、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成する。</p>	<p>①生徒一人ひとりの実情に応じたより効果的な指導の確立を目指す。</p> <p>②生徒の実情や社会的ニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を進める。</p> <p>③教科横断的な視点に立ち、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成する。</p>	<p>①課題のある生徒に対しての効果的な指導法について検討するべく、学年会や教科会およびSST等の研修を行う。</p> <p>②生徒が主体的に学習を深めていくようにするため、ICTをどのように利用するのが効果的か、検討を続ける。</p> <p>③教科横断的な視点に立った取組みを検討し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するための取り組みを模索し、総合的な探究の時間では、「課題探究発表会」を継続する。</p>	<p>①課題のある生徒に対しての効果的な指導法について検討でき、生徒の実情に応じた指導法を確立できたか。</p> <p>②ICTを活用した授業をより充実し、生徒の実情や社会的ニーズをふまえた多様な学習機会が増えたか。</p> <p>③総合的な探究の時間において教科横断的な視点に立った取組を行い、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成できたか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>①生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえたきめ細かな生活指導と相談体制を充実させる。</p> <p>②部活動を充実させ、生徒が有能感を感じられる取組みを進め、また行事等においても生徒の主体的な活動を支援する。</p>	<p>①生徒の現状と課題の把握および支援方法について定期的に検討し、全教員で情報共有を図る。特に、スクール・カウンセラー（SC）やスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）との連携を行い、組織的・計画的な校内体制を確立する。</p> <p>①全生徒への情報発信を日頃から行い、学校生活・健康・保健・安全・食育等について生徒の意識を高める工夫をする。</p> <p>②部活動・行事等の活性化を図り、限られた時間でも成果を出し、生徒が有能感を感じられるよう、部活動・行事等の内容や指導方法を工夫する。</p>	<p>①生徒の現状と課題や支援方法を情報共有会議等で早期把握、また、校内研修会等を活用し支援方法の共有を図り実際の指導に生かす。</p> <p>①きめ細かな生活指導と充実した個別相談を行い、生徒の困り感への対応と校内外のトラブルの未然防止に努める。</p> <p>①ICTの活用、保健便り、各種情報掲示物等を活用し、生活・保健・安全・健康等について、全生徒への情報発信を行い、生徒の健康上の問題や、生徒指導上の問題等を未然に防ぐ。</p> <p>①食堂の利用実態を把握するためにアンケートを実施し、利用率向上と食育指導の充実を図る。</p> <p>②部活動・行事等の時間をできる限り多く確保するために部活動週間等を活用し、限られた時間内で活動内容を工夫し活性化させる。</p>	<p>①SCやSSWと計画的かつ迅速に連携し、学年会や研修会等で情報を共有して実際の指導に反映させ、きめ細かな生徒指導や生活支援により生徒の課題解決につなげることができたか。</p> <p>①全生徒への情報発信を積極的に行い、学校生活や健康上の問題、生徒指導上の問題等を未然に防ぐことができたか。</p> <p>①食堂利用の実態を把握し、利用率向上と食育指導に繋がったか。</p> <p>②限られた活動時間を有効活用し、部活動・行事等がより活性化し、生徒の参加率を高め、心の充実度や達成感が増したか。</p>
3	進路指導 ・支援	<p>①生徒一人ひとりの自己実現を目指し、教育活動全体を通じたキャリア教育を推進し、4年間を見通したキャリア教育を実現する。</p> <p>②進路情報の提供について外部との連携を図り、内容を充実させる。</p>	<p>①生徒一人ひとりのキャリア意識を高め、自分の進路について深く考えさせることで、グループ、学年、教科、外部機関が連携し、組織的かつ継続的に、進級・卒業・進路決定につながるキャリア教育を推進する。</p> <p>②進路選択における情報提供を外部と連携し効果的に行う。</p>	<p>①生徒のキャリア意識を高めるために、進路ガイダンス、進路説明会、就職セミナー等を外部機関とも連携して実施するほか、進路なんでも相談、個人面談、授業やLHR等を利用し、個々の生徒に配慮した支援を行う。</p> <p>①4年間を見通したキャリアプランを検討し、継続的なキャリア支援を推進する。</p> <p>②ICTを活用した進路支援の方法を検討し、情報提供等、効果的なキャリア教育を推進する。職業適性検査を実施する。</p>	<p>①進路ガイダンス、進路説明会、進路なんでも相談、個人面談等を効果的に実施することで、生徒のキャリア意識を高めることができたか。</p> <p>①進級・卒業・進路決定に向けて生徒が主体的に考え、行動できたか。</p> <p>②情報提供等の進路支援で、生徒が自ら進路活動に取り組むようになり、各自に合った進路情報や自分の進路を主体的に考えることができたか。</p>
4	地域等との 協働	<p>①保護者や地域と協働・連携した教育活動を展開し、信頼される学校づくりを行う。</p> <p>②教科やキャリア教育の観点で協働を図り、地域に根ざした学校を目指す。</p>	<p>①地域貢献活動・ボランティアや文化祭等の学校行事を活性化し、保護者や地域（地元商店街等含む）、関係機関の方々と本校との連携を深める。</p> <p>①ホームページ等による情報発信や広報活動を積極的に行い、希望ヶ丘高校定時制の特色や良さをアピールし、より正確に本校を理解してもらう。</p> <p>②教科やキャリア教育における地域との協働についての施策を検討する。</p>	<p>①地域貢献活動や文化祭等の学校行事を通して、本校と外部の関係機関、地域、保護者との連携を深め、信頼されて活気のある学校づくりを行う。</p> <p>①ホームページの定期的な更新を積極的に行い、広報活動を効果的に推進する。</p> <p>③総合的な探究の時間や進路活動の場面において、地域との協働の方法を検討または実施する。</p>	<p>①地域貢献活動や文化祭への参加者が増え、学校行事が活性化し、本校と外部の関係機関、地域、保護者・生徒との信頼関係が深まり、信頼される学校づくりにつながったか。</p> <p>①校内外での広報活動やホームページ等での情報発信を積極的に行うことで、希望ヶ丘高校定時制の良さをより正確に理解してもらうことができたか。</p> <p>②地域との関係を構築しつつ、次年度に繋がれる施策を検討または実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒にとって安全・安心な学校づくりを推進するとともに、職員一人ひとりが事故・不祥事防止に積極的に取り組む。</p> <p>②業務改善のために業務のスリム化やデータ管理などを推進する。</p>	<p>①生徒一人ひとりが、法律を遵守し、交通安全や防犯、防災等に高い意識をもって高校生活を過ごすことができるように、説明会や講演会、訓練等を行う。</p> <p>②職員の事故・不祥事防止については、職員全体で主体的に取り組み、ミスや不祥事の無い職場環境を維持する。</p>	<p>①関係外部機関と連携して、実践的な交通安全教育、防犯教育、防災教育を効果的に実施する。</p> <p>①防災用品や防災備蓄品の点検をしつつ、実践的な防災訓練を実施する。</p> <p>②定期テストの共通化、情報共有、複数による点検確認作業の徹底等を継続する。</p>	<p>①説明会、講演会、訓練等を効果的に実施することで、交通安全や防犯、防災に関する生徒の知識や理解を更に深めることができ、より安心で安全な学校づくりにつながったか。</p> <p>②事故や不祥事防止に取り組むことで、事故や不祥事を未然に防ぐことができ、ミスや事故・不祥事の無い職場環境を維持することができたか。</p>